

令和7年度
九州農政局
農村RMO推進フォーラム

事例発表

熊本県天草市



宮地岳みらい里山協議会

田中 大地 (たなか だいち)

・宮地岳みらい里山協議会 代表

・上田原農園 代表

・農事組合法人 宮地岳宮農組合 代表理事

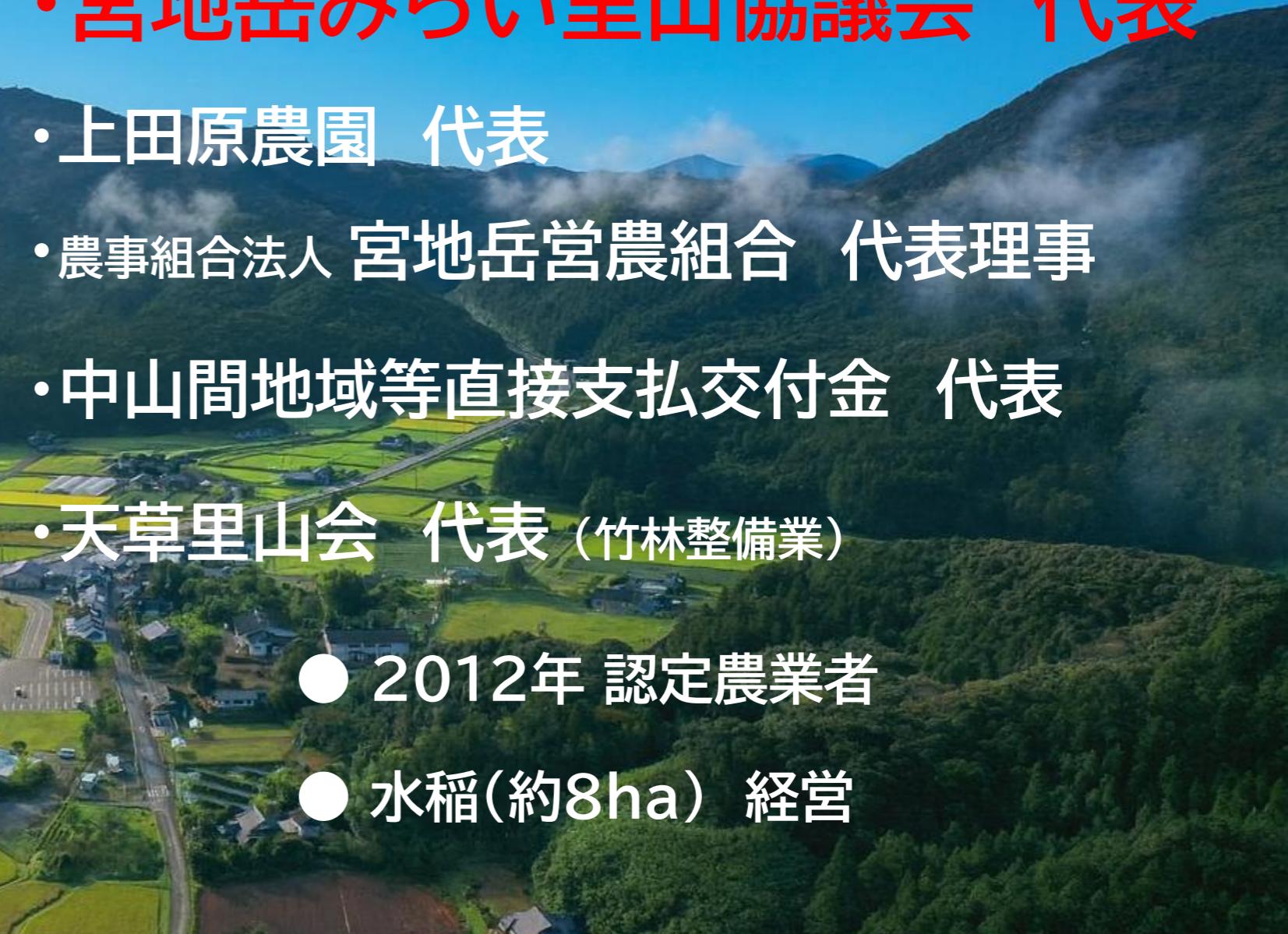
・中山間地域等直接支払交付金 代表

・天草里山会 代表 (竹林整備業)

● 2012年 認定農業者

● 水稻(約8ha) 経営

地域に根を張り
稲作奮闘中！



地区の概要

熊本県天草市宮地岳町

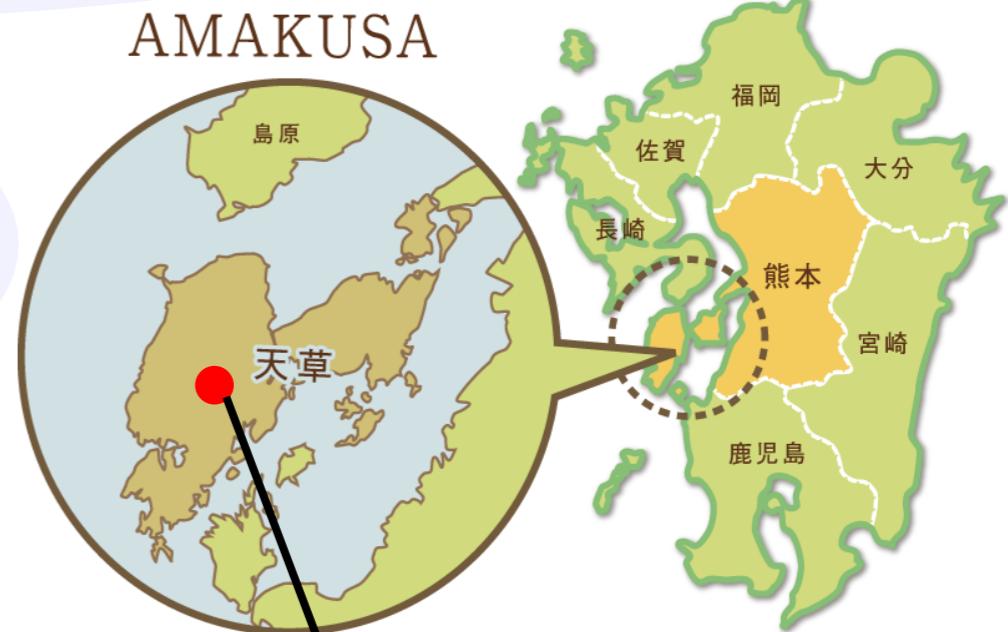
- ・熊本県天草市下島の中央部に位置する中間農業地域である。
- ・山々に囲まれた平均標高110mの盆地に広がっております。

場所

- ・平成18年3月に2市8町が合併し、現在の天草市となっております。
- ・過疎化と少子高齢化が進行し、高齢化率は約56%を超えており、人口は420人程度で“かかし”の数は600体を超える勢いである。

地区の特色

- ・10集落が点在しており、集落間の絆が深く、互いに助け合い、協力し合う文化が今なお色濃く残っている地域です。



挑戦できる町づくり

by Daichi

農村RMO

宮地岳 将来ビジョン

Future vision of MIYAJIDAKE

CHIKURIN SEIBI
X
MENMA



MENMA

MIYAJIDAKE
TAIKEN



NOUCHI
HOZEN



Drone
HAITATSU



KAKASHI
MATTSURI!



MIYAJIDAKE Brand



Smart NOGYO



宮地岳みらい里山協議会

2025(令和7)年 3月

宮地岳町の概要



宮地岳町
人口・世帯数
推移
(H17～R6)

<統計日>
H17～R5 : 3/31時点
R6 : 12/31時点



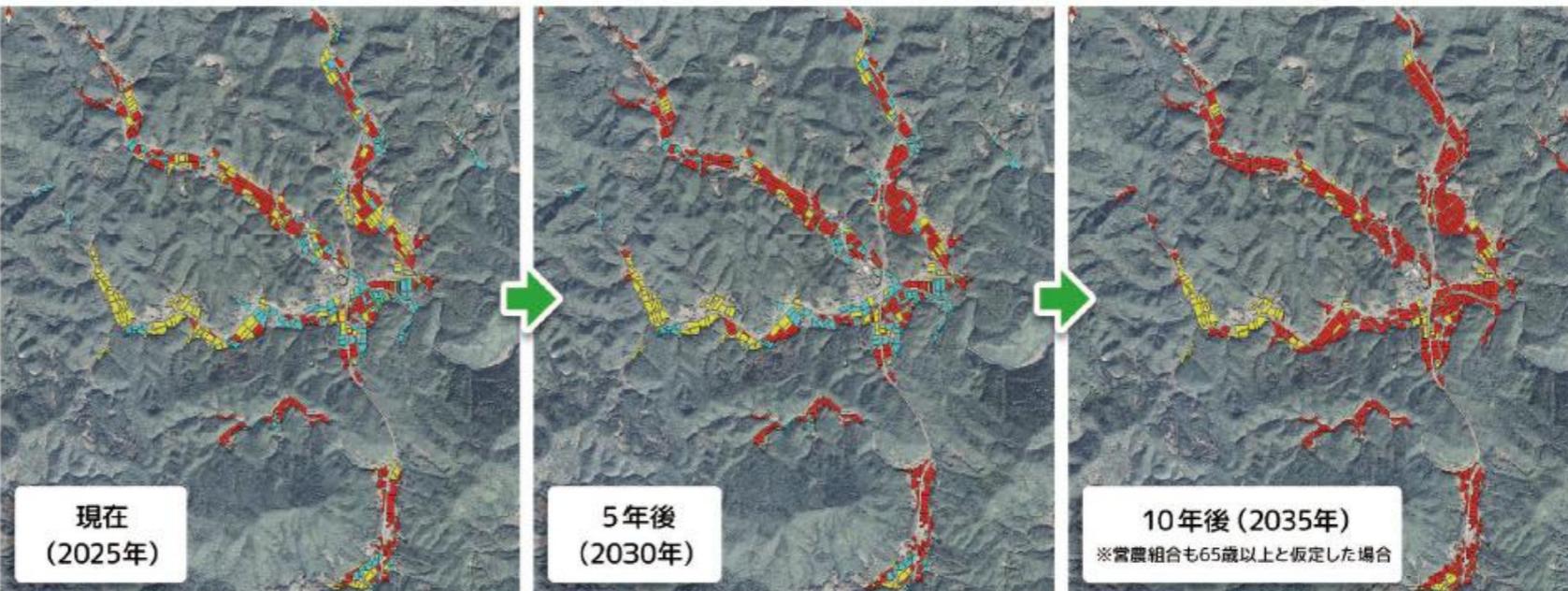
人口は289人(約40%)、
世帯数は53世帯(約20%)が
20年間で減少

農用地管理者の推移
(年齢別分布図)

少子化・高齢化問題は宮地岳も例外ではなく、10年後にはほとんどの農用地管理者が65歳以上となる予測が出ています。次世代の人材確保やスマート農業の普及などの問題解決が急務となっています。

凡例

- 65歳以上
- 65歳未満
- 組合管理



天草市の概要

熊本県の西側にある諸島「天草」は、季節を味わえる山海の幸、一年中楽しむことのできるイルカウォッチング、日本最大級の肉食恐竜の化石が発見された恐竜の島、世界文化遺産の崎津集落やキリシタンの歴史を伝える施設、埋蔵量日本一の陶石でつくられる天草陶磁器など、食・自然・文化に育まれた島です。(参考: 天草市役所ホームページ)

人口 71,766人 / 35,901世帯
2025年1月現在

65歳以上 30,824人

農家数総数 3,885戸
2020年現在

①守れる農地 / 守れない農地の仕分けの協議

現状

- 農地の維持・管理が難しくなり、一部の農地が守れなくなっている。

- 中山間地域等直接支払交付金

【協定農用地】95.63ha → 80.76ha (-14.87ha)

課題

- 担い手不足や高齢化により、農地の維持、管理が困難になっている。

- 地形や立地条件の問題、コスト負担の増大や人手不足による、
守れない農地が増加。



ドローン調査の機体



赤外線カメラの映像



大分研修 2025年2月8日・9日



②鳥獣被害対策の先進地研修、ドローン調査の実施

現状

- 捕獲数 約200頭(集計途中)

- ドローン調査。2年目は追い払い検討、実証



③スマート農業機材のリースによる作業の効率化

●コンバイン導入 作業効率の効果

- ・R6年度実績(R6.9.2導入)

- ・普通期収穫より

【収量センサー・食味センサー搭載】

受託面積 4.3ha / 受託件数 18件



●色彩選別機納品の効果

- ・R6年度実績(R6.11.26導入)

【うるち米・もち米対応】

利用件数(13件)



農用地保全

取組の背景

- ▶ 中山間地域等直接支払交付金 ➤ 平成12年度
- ▶ 多面的機能支払交付金 ➤ 平成19年度

特長

平成18年(法人化)
農事組合法人
「宮地岳営農組合」



耕作放棄地の発生防止！

町全体を一つの集落
としてとらえ

農用地保全に関しては、交付金の受け皿として組織が成立していたので、維持/継続していくことの苦労を感じております。



①特産品開発の協議、研修

●竹林整備もかねた、メンマの開発の決定

2024年12月 6日 延岡での研修……16人

2025年 1月 26日 竹林整備の実施…18人

特産品づくり メンマ開発協議



メンマ整備研修



②特産

●地域ブランドの方向性策定

宮地岳米、菜種油などのブランド強化に向けた計画策定

「宮地岳ブランド」のコンセプト検討

宮地岳ブランド開発 試食会



ブランド強化商品



③地域の祭りの復活アンケート調査

宮地岳例大祭は、コロナ中で中止となり

祭りの復活のアンケート調査を実施。

現在は、かかしまつりで例大祭を再現している。

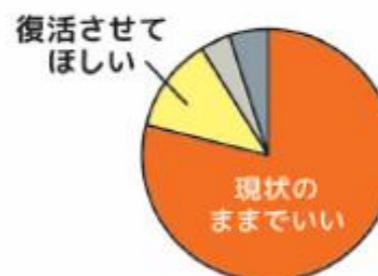
アンケート結果

問16. 例大祭は現在祭典だけの開催になっていますが、どうでしょうか。

① 現状のままでいい	64
② 復活させてほしい	10
③ その他	3
未回答	4
総計	81

その他

- ・町民主体で参加者を町外に募集する
- ・御花をなしにする
- ・太鼓踊りだけでも復活させたい



地域資源活用

地域の特産品が少ない

メンマ



天草メンマ

シーフードカレー味(あおさ入り)



放置竹林の
整備が地域
を守る！

人が森に入る
ことで鳥獣被
害対策に！

森の恵みが
“天草の恵み”
生まれ
変わる！

特産品づくりを
通して
人と人のつなが
りができる！

森を整え、
海を味わい、
地域をつなぐ！

菜種油



内容量
180g



味噌



宮地岳産の
**お米と
大豆に
こだわった
味噌！**

容量・パッケージのリニューアル

フレス'川ース(イベント)

・10月17日
メンマのリリースイベントを行っております

- ・LOCAL BAMBOO 代表
- ・天草市
- ・民放4社
- ・NHK
- ・ケーブルTV
- ・(株)宮地岳 社長
- ・クリニック 医師
- ・町おこし協力隊
- ・JA本渡五和
- ・協議会他関係者 15名



・テレビ放映の影響もあり、
順調な売上げとなっております



生活支援&研修会

活動報告

2024年(令和6年)

実証実験の様子

①ドローン配送実現を視野に入れた、実証実験の継続

2023年 3月19日 【道の駅宮地岳かかしの里】から【長迫地区】へ
特産品『天草大王』を個人宅へ配送。

2024年 12月 4日 宮地岳町唯一の【平野商店】から【樺の木地区】へ
宮地岳町産の新鮮な野菜を個人宅へ配送。

アンケート
調査の結果

お惣菜やお弁当の配送を希望する声が多く寄せられたため、今後は道の駅
宮地岳かかしの里発で、宮地岳産のお米を使用したお弁当などの配送を予定。



問1.6. ドローンで配達してほしいものがあれば教えてください	
① お惣菜（お弁当など）	31
② 生鮮食品（野菜、果物など）	13
③ 日用品（洗剤、トイレットペーパーなど）	19
④ 医薬品（処方薬、市販薬など）	16
未回答	2
計	81

②アンケート調査結果の概要・結果・課題

本調査の結果、若い世代（特に活動メンバー以外）の回答率が低い
ことが明らかとなった。これにより、現状の取り組みが特定の層に
偏っており、若年層の関心や参加意識が十分に醸成されていない
可能性が示唆される。

今後の
課題として

若者世代が主体的に関与できる
環境の整備や、より幅広い層への
情報発信・啓発活動の強化が
求められる。

問1. 性別を教えてください　問2. 年代を教えてください

性別	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	総計
男性	1	4	12	19	25	4	65
女性	1	1	2	2	5	5	16
総計	2	5	14	21	30	9	81

アンケート回答 年代比率 回答者 計81名



③農村RMO中央研修会・参加イベント

2024年 8/ 20~23 中央研修会(2名) 東京都港区芝浦

2024年 9/ 27 官民共創マッチングイベント(2名) くまもと森都心・プラザ

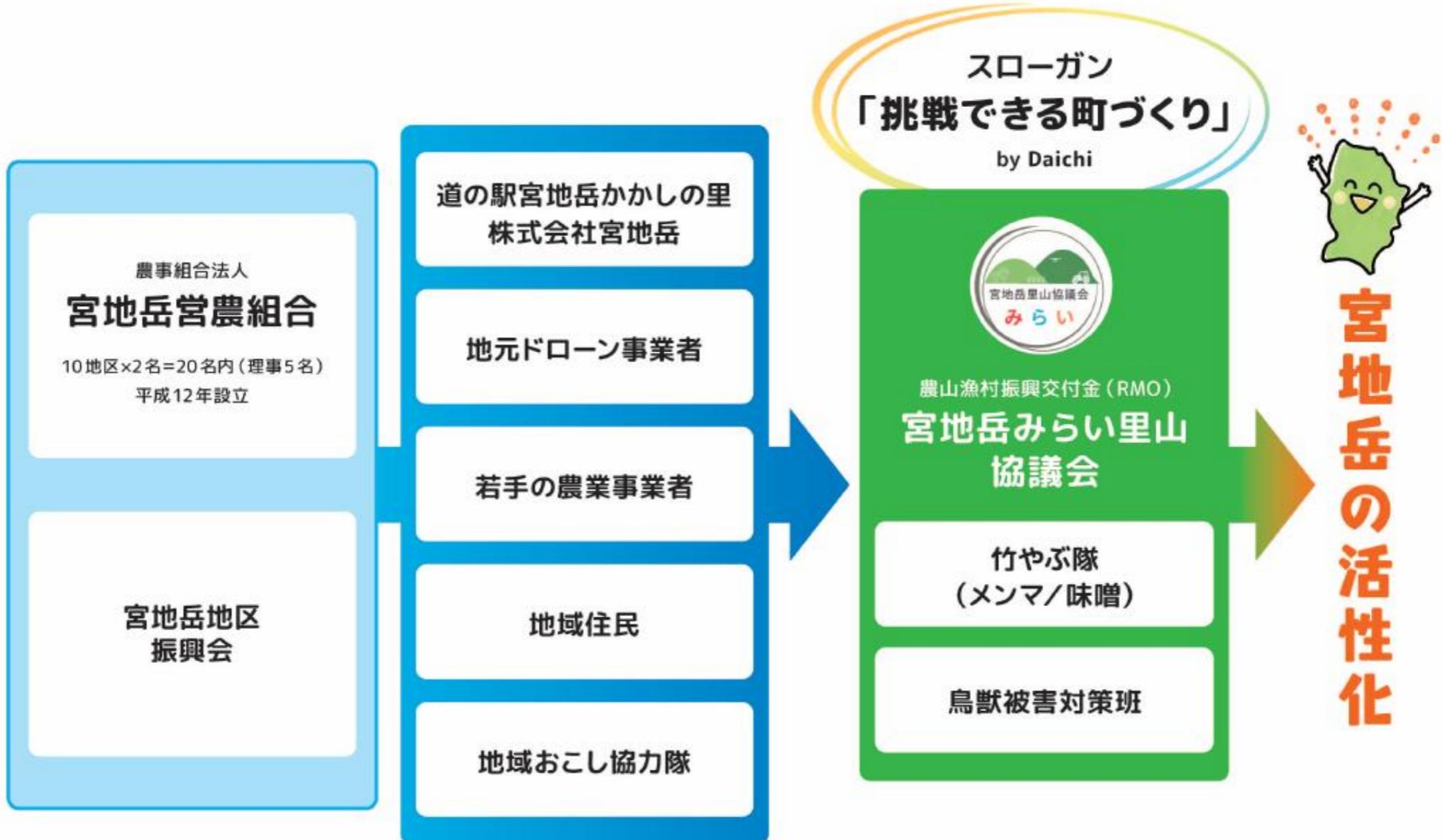
2024年 11/ 29 RMO推進フォーラム(2名) 熊本商工会議所

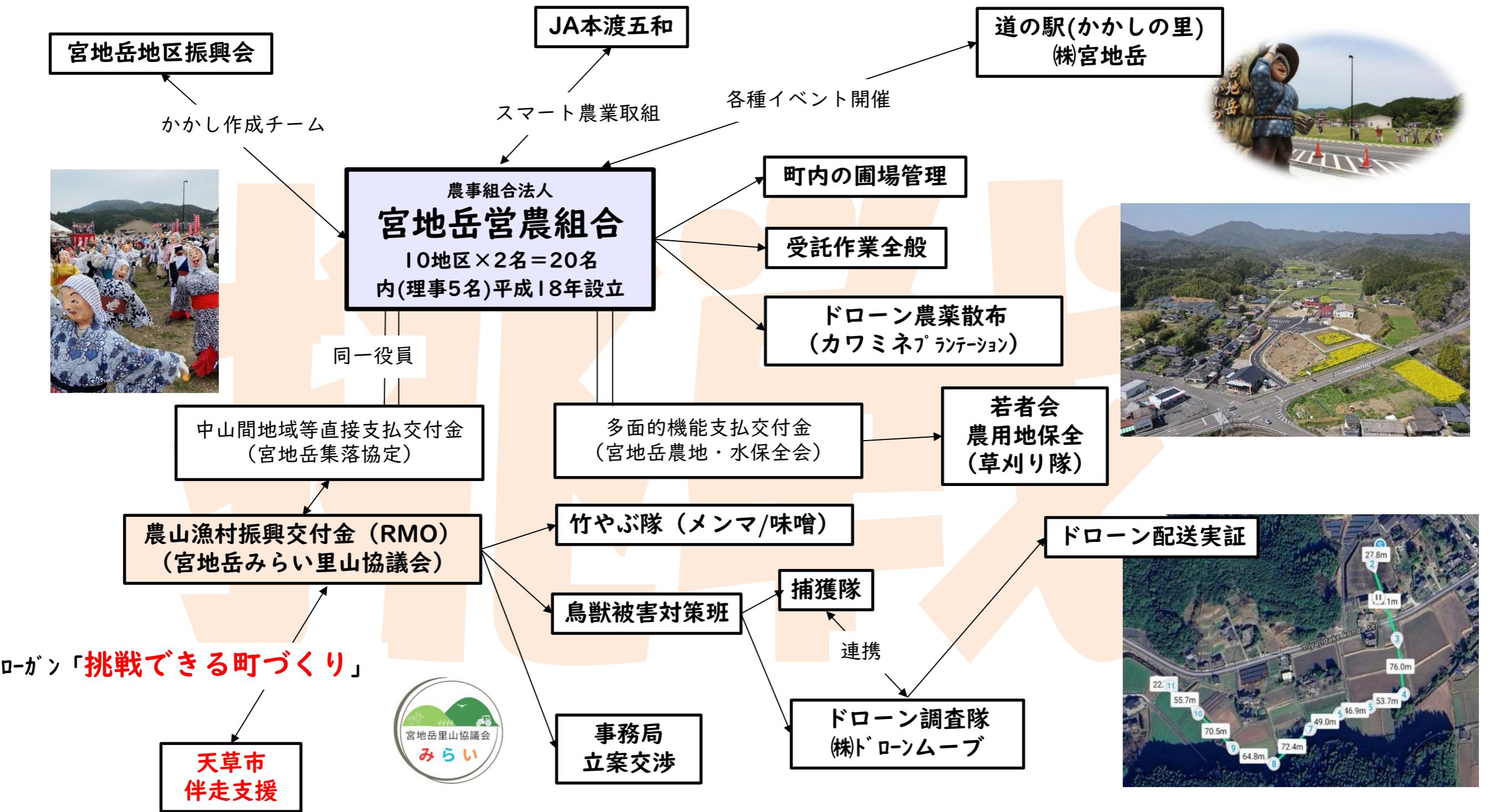
2025年 1/ 10 RMO推進フォーラム(2名) 熊本テルサ

研修会の様子



挑戦できる町づくりの体制図





取組を開始するにあたって

代表

- ・農村RMOを中心間補助金の延長と位置付けて、そのまま組織代表を決める。

事務局

- ・中山間/多面的の両事務局を務めている人にお願いする。
- ・1人事務局体制では煩雑になることから、もう1名、副として事務局を指名した。
- ・アンケートや聞き取りにて様々な提案を行う。

※ 伴走支援がなくては事業展開は難しい。

・当組織は《天草市》

初年度は「市も組織も」相当苦労しておいます。

悩み苦労したこと

農用地保全



草刈り隊



鳥獣被害対策班



鳥獣捕獲隊



ドローン調査隊

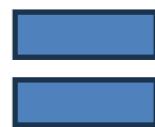
地域資源活用



竹やぶ隊

組織作り

生活支援



ドローン配送

悩み苦労したこと課題

※ 組織作りを取り掛かりとして発足し、各組織の協力を要請！

課題！

自走していくための
利益の確保

「挑戦できる町づくり、これからも一緒に！」

ご清聴ありがとうございました！

